

No.11 別紙

1 活動名 これからのフェミニズムを考える白熱座談会

2 研修の目的

(1) 本市における課題

ジェンダー平等を実現するためには、現存するジェンダー格差を認識し、男性女性いずれも生きやすい社会にしていくための具体的な施策

(2) 研修の必要性

アンチフェミニズムの背景に「男性の生きづらさ」があるのであれば、その原因をきちんと分析・言語化していくことは、これからのフェミニズムの未来にとっても、生きづらさを抱えた男性の未来にとっても、ジェンダー平等を実現する本市にとっても大きなプラスである。

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和4年1月22（土）

(2) 会場 オンライン

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

男性の生きづらさと、その背景にある社会課題を因数分解する（約70分）

SNSの炎上から振り返る「男性の生きづらさとフェミニズム」（青識亜論さんによる解説）

データから見えてくる「男性の生きづらさ」の現在

新しい「弱者男性論」を構想する

『未婚中年ひとりぼっち社会』とは何か

現代の未婚中年男性（正規／非正規）の抱える悩み

グローバル化とIT化、新自由主義的な構造改革、非正規の増加・正社員の疲弊など

未婚男性の生きづらさを和らげるために（個人でできること／社会としてすべきこと）

アルコール・ギャンブル依存、DVと共依存、子どもの虐待

性暴力とハラスメント・・・加害者男性の認知の歪みはどこから生まれるのか

被害者意識に満ちた男性＝「加害者は被害者意識が強い」という現実

DV加害者の男性に対する教育プログラムの現状と課題

(5) 成果・所感等

男らしさ、女らしさ、こうあるべき、男女役割、無意識のジェンダーバイアスなど、現代を生きる者の「生きづらさ」を理解するために必要なキーワードを読み解こうとする方々の発表は、いずれも大変重いものであった。生きづらさを解決し、生きやすい社会にしていくためにも、学びを止めず、研鑽を積んでいきたい。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 参加費 3000円